

英国感染管理研修ツアーに参加して

鹿児島県立大島病院  
感染管理認定看護師 中尾 真琴

今回、2012年10月8日～10日の3日間、英国感染管理研修ツアーに参加しました。土井先生の研修会に参加する度に、この海外研修に一度は参加し、海外の感染管理を実際に見てみたいと思っていました。今年、感染管理認定看護師審査に何とか合格できたこともあり、自分へのご褒美もかねて思い切って参加させていただきました。

研修病院は、グレートオーモンド小児病院（写真1）、ロンドン大学病院、今年4月に開業したばかりのがんセンター（写真2）の3施設を見学することができました。



(写真1)



(写真2)

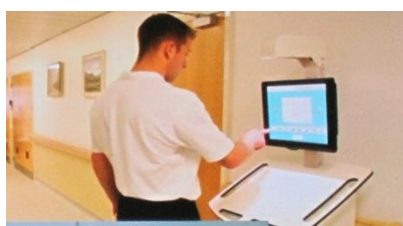
一緒に研修を受けた仲間には、感染管理認定看護師さん、リンクナースとして頑張っている看護師さん、施設の副理事長さん、薬剤師さん、臨床検査技師さんなどたくさんの職種の方々が参加されていました。

3日間の研修で、感染管理に関わっている専門家の方々から講義を受けることができ、英国の医療の現状や感染管理における歴史や活動を知ることができました。

感染管理の活動の中で、一番印象に残っているのが、やはり「手指衛生」における活動です。「感染管理を行うなかで、手指衛生が一番重要である。」これはどの国でも同じことだと改めて感じました。

研修先の施設では、手指衛生への興味を維持するために、啓蒙するバーチャルナースが設置されていたり、面白く、耳に残る音楽とともに手洗いを促す動画を作成していました。（ Youtube で検索すると見られます。）

また、正しい手洗いができるように、ゲーム機の「Wii」のような、人の動きを感知する機械（写真3）を利用して、手洗い成功率を算出していたり、ドアハンドルを握るとジェル状の手指消毒剤が出てくる装置などが設置されていました。（写真4）



(写真3)



(写真4)

講義の中では、見えにくい手洗い場（Sink）は近くにあっても使用されず、見えやすい場所にある手洗い場は、遠くにあっても使用する傾向があり、手洗い場の場所も感染管理に影響する事を学び、「Think Sink：どこに手洗い場を設置するか」これもとても重要である事が理解できました。

英国の素敵な考え方だと感じたのは、「オーナーシップ」ということでした。手指衛生を自主的に行うことが重要であり、それぞれが感染予防のオーナーシップを発揮するという意識が大事だと感じ、今後このような意識を持って活動を行っていきたいと思いました。

今回、土井先生の研修会をきっかけに、英国での感染管理研修ツアーに参加し、たくさんの仲間の輪を広げることができたことも、私にとっては大きな収穫だったと思います。感染管理はチームで行って大きな効果が得られます。そのためにも、一緒に活動してくれる仲間がいることが大きく影響してくると思います。ここでの小さな出会いが、今後、大きな輪になり、少しずつ感染管理活動につなげていけるといいと思いました。

英国感染管理研修、本当に楽しい研修でした。土井先生、岡先生、通訳のウーさんとエミコさん、本当にありがとうございました。研修参加の皆様、研修中は大変お世話になりました。皆様に心より感謝申し上げます。

